

## 学習スキルの指導

◇ 子供に身に付けさせたい学習スキルを教科等の学習と連動させて押さえます。教科には教科それぞれに指導すべき学習スキルがあります。それを「総合的な学習の時間」においても関連付けて指導することによって効果的に身に付けることができます。また、「総合的な学習の時間」で身に付けた学習スキルが、教科学習にも発揮され相乗効果を生むことにもなります。当然のことながら、前学年、前学期との関連も押さえる必要があります。

例 自然や社会をみる観察力 記録の仕方 インタビューやアンケートなどの資料収集 生き物の飼いかた 手紙の書き方 インターネットの使い方など各種メディアの操作 ディスカッションやディベートなどのコミュニケーション能力 多様な表現力 手話・点字ボランティアの心得 など

## 基本的な生活習慣・マナーの指導

◇ 社会や自然、人とかがわりながらよりよく生きていくために欠かせない生活習慣やマナーは、人間としての生き方を考えさせることをねらいとしている「総合的な学習の時間」では、特に大切にしたいものです。

例 あいさつの仕方 電話のかけ方 後片付けの仕方 お願い（調査等の依頼）の仕方 インタビューの仕方 図書館でのマナー 外国人との接し方 お礼の述べ方 野外活動でのマナー（動植物との接し方） など

## 体験学習マニュアル等の作成

◇ 校外での活動では、予期せぬ事態が起こることも考えられます。子供の安全確保については、事前の周到的な指導が欠かせません。

例 交通ルール 事故発生時の対応 グループ行動でのきまり など

